

令和4年度 学 校 評 価 報 告

草加市立草加中学校

(令和5年2月27日作成)

| | |
|--|---|
| 1 学校教育目標 「目標を持ち、努力する生徒」 | |
| 2 重点目標・努力目標 「指導方法の工夫改善を行い、生徒一人ひとりを伸ばし育てる」 (1)「いまをたくましく生きる」ための確かな学力を育む学習指導 (2)「いまをたくましく生きる」ための生徒指導 (3)幼保小中を一貫した教育の推進 (4)地域とともにある学校づくりの推進 (5)「いまをたくましく生きる」ための健康教育・安全教育の充実 (6)多面的・多角的に考える生徒を育む道德教育の推進 (7)ノーマライゼーションの視点を持つ特別支援教育の充実 (8)「いまをたくましく生きる」ための進路指導の充実 | 3 前年度の成果と課題 成果 ○コロナ禍ではあるが、運動会や授業公開、合唱祭、保護者会等の開催により学校行事の充実について前年度より22%増の高評価をいただき、生徒の活躍を保護者にみていただいた成果である。 ○県学力状況調査での個々の伸びを図ることを始めとし、年度末の市学力学習状況調査においては、どの教科においても全国、市の平均を上回った。 課題 ●Wi-Fiの容量の問題で、オンラインを活用した授業を教職員が自由に設定することができず、調整が課題となった。ICT活用の継続的な研修が必要である。 |

| 4 評価表 ※評価基準【A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である】 | | | | |
|---|-------------------|---|----|---|
| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 ○成果 ●課題 |
| I 学校運営に関するもの | ①組織運営 | ・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等 | A | ○教育目標が教職員に周知され、教育活動を進めるうえでいかされている。 ○各分掌でPDCAが徹底され、次年度以降の課題を共通理解・確認した。 |
| | ②研究・研修 | ・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成 | B | ○ICTを活用した授業を積極的に実施。 ●働き方改革と教員研修の設定において、より質の高い研修、研修の精選が求められる。 |
| | ③保健管理・安全管理 | ・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用 | A | ○教職員・生徒の毎朝の健康観察を徹底して取り組めた。 ○保健・安全の維持・管理・指導に全教職員で取り組めた。 |
| | ④情報管理・施設設備管理 | ・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用 | A | ○全校が集まる行事などは、オンラインによる式にするなどICTを積極的に活用した。 ○個人情報の保護、セキュリティの確保について徹底している。 |
| | ⑤地域との連携 開かれた学校 | ・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化 | B | ○学校だけの紙面増により定期的な発行とHPの更新、一斉メール等を通して連携を深めた結果、前年度より3.7%増の高評価をいただいた。 ●PTA本部役員の方の分担が多く、負担が増している。 |
| | ⑥幼保小中を一貫した教育 | ・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり | B | ○幼保小中連携では情報交換を密にし、共通理解を図った。小中乗り入れ授業の充実が図れた。(英語) ●コロナ禍での交流事業の精選、実施方法を変更し、オンラインで開催した。 |

| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 ○成果 ●課題 |
|------------------|-----------------|--|----|---|
| II 教育活動に関するもの | ①教育目標・教育計画 | <ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 | A | <p>○一人ひとりの学習意欲を高め、深めていける授業を実施した結果、先生の授業が分かりやすいと回答した生徒が増えた。</p> <p>○教職員が教育目標を理解し、教育活動を進め、学年・指導にいかした。</p> |
| | ②教科指導 | <ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 | A | <p>○各教科の教科会での話し合いを充実させ、生徒の思いや願いをいかす授業展開とわかる授業が実践できた。</p> <p>○ICT等を積極的に活用し、生徒たちが意欲的に活動した。</p> |
| | ③道徳教育 | <ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 | A | <p>○学年全体で全体計画に沿って授業を実施。</p> <p>○学年間で教材等の情報共有ができており、学年教員が全クラスの道徳を受け持つ授業体制を組むことができた。</p> |
| | ④特別活動 | <ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 生徒会活動 | B | <p>○生徒会本部や専門委員会組織を中心に活発な活動が計画・実践できた。</p> <p>●オンラインで開催時している際の参加している生徒のモチベーションの維持が課題。</p> |
| | ⑤「総合的な学習の時間」の指導 | <ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 | A | <p>○一人ひとりに応じた評価ができ、学年全体で組織的・系統的に授業が実践できた。</p> <p>○地域の方と連携した地域防災学習が実施できた。</p> |
| | ⑥生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、生徒理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 | A | <p>○定期的にいじめ対策委員会を開催し、さまざまな角度からいじめに対する見解を検討することができた。</p> <p>○生徒指導委員会、教育相談部会を中心に組織的な指導ができた。</p> |
| | ⑦キャリア教育 | <ul style="list-style-type: none"> 組織的なキャリア教育 指導方法の工夫と改善 啓発的経験の充実 進路情報の収集・活用 職場体験活動 | A | <p>○定期的な進路だよりを全学年に配布することができた。</p> <p>○3Daysの代替えでキッザニア東京に行くなどの体験学習を取り入れることができた。</p> |
| | ⑧特別支援教育 | <ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 | A | <p>○個別の指導計画を元に生徒一人ひとりの特性に応じた指導を心がけた。</p> <p>○SC, SSWや諸機関と連携し、解決に向けた検討会やケース会議を通して、諸課題の解決を目指した。</p> |
| | ⑨学校図書館教育 | <ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 | A | <p>○生徒会、図書委員会により学級文庫が充実し、朝読書が確実に実施できた。</p> <p>○司書教諭、学校司書が中心となり積極的な図書館経営ができた。</p> |
| | ⑩情報教育 | <ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 | A | <p>○ICT活用の研修会を充実させ、全教職員が授業等で積極的に活用することができた。</p> |
| | ⑪人権教育 | <ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 | A | <p>○年間計画どおり、人権作文・標語を全校で実施できた。</p> <p>○校内研修を実施し、人権教育に関する理解を深めた。</p> |

| 領域 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 ○成果 ●課題 |
|----------------|--------------------|-----------------------------|----|--|
| Ⅲ 特色ある学校づくり | 学力向上の取組について | ・指導方法の工夫改善を行い、生徒一人ひとりを伸ばし育む | A | ○基礎基本の定着を目指し5つのコンテストを継承実施することができた。 ○ICT機器を利用した授業を全教職員が積極的に行うことができた。 |
| | 幼保小中を一貫した教育の取組について | ・教師間での交流の深化 ・児童生徒の交流の深化 | B | ○小中乗り入れ授業の充実が図れた。 ●コロナ禍による行事精選のため、直接の交流ができなかった。 |
| | 読書活動推進に関する取組 | ・自ら読書に親しむ児童生徒の育成 | A | ○委員会を中心にたくさんの本を読んでもらうための工夫を考え実施したことにより、読書数が増えた。 |

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

○学校教育目標「目標を持ち、努力する生徒」に対し保護者からは、概ね良いとの評価をいただいた。また、学校運営や教育活動においても概ね良好であり、全職員が学校教育目標の具現化に向けて共通理解を認識し、組織的に取り組むことができた。

○全教職員が積極的にICTを活用した授業を取り入れ、わかる授業づくりや基礎学力の定着を図る環境づくりができた。

○自己肯定感を育む道徳授業の推進を全教職員で行うことができた。

○基礎学力の定着を目指し、年間を通して、計画的にコンテストを実施した。定期テスト前には、補習も実施し、個々の学力の向上に努めた。

6 次年度の改善策

- ・教職員研修の精選。
- ・基礎学力の定着を図る取組の更なる推進。
- ・「特別の教科 道徳」の更なる研究。
- ・体力の向上。
- ・学校図書を整備・充実と生徒の読書活動の推進。
- ・配信メールの効果的な活用。
- ・行事の積極的な公開。